

第15回全国スペシャルトランポリン交流大会

実施要項

- 主催 : 公益財団法人日本体操協会
共催 : 掛川市トランポリン協会
主管 : 公益財団法人日本体操協会トランポリン委員会
協力・後援 : 静岡県体操協会
- 開催日 : 【競技の部】2022年2月11日(金・祝)
【発表の部】2022年2月12日(土)
- 会場 : 東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」
静岡県掛川市大池2250
電話番号 0537-22-5533
- 競技 : 競技の部 知的障がい者・身体障がい者
10種目
小学生・中高生・一般 各男子、女子別
※1クラス14人を超えた場合には、申込時に申請する、実施予定難度を元に
グループ分けを行う
Aクラス・Bクラス
SS・Sクラス(規定導入)
5種目
- 発表 : 発表の部 知的障がい者・身体障がい者
自由・シンクロ
- 規則 : 公益財団法人日本体操協会トランポリン競技規則、及び全国スペシャルトランポリン交流大会特別規則に準じて行う。
※採点規則等は下記サイトをご覧ください。
https://www.jpn-gym.or.jp/trampoline/spectator_guide/tra_judging/
- 器具 : ユーロトランポリン(4mm×4mm テープベッド)
- 参加資格 : 公益財団法人日本体操協会の登録を済ませた者
2021年12月25日までに登録を完了すること
知的障がい、身体障がいのあるものが参加できる
参加選手各自または所属団体は傷害保険に加入していること
- 表彰 : 各クラスとも全員を表彰する
- 参加料 : 競技の部 3,000円
発表の部 自由 2,500円 シンクロ 1組5,000円
- 備考 : 本大会は新型コロナウイルス感染症の影響により、大会自体の開催が中止となる可能性があります。万一中止となった場合は、中止の発表までに掛かった準備費用を差し引いての返金となりますので、その旨をご理解ください

た上でお申し込みください。

本大会は、「体操イベント実施に向けた新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に基づいて運営されます。参加する選手団につきましては内容を確認し、新型コロナウイルス感染拡大の防止に積極的にご協力下さい。

入館者については、受付時に「JGA体調管理検温表（全国SP用）」を提出して下さい。提出が無い場合は入館出来ません。体調不良等が認められる場合は来館を控え、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

申し込み : 以下の書類をE-mailで申込みください

- ① 参加申込書
- ② 総括表

宛提出先 : tsubasa-trampoline@oasis.ocn.ne.jp

NPO法人つばさの会

担当：齋藤 安江宛

締 切 り : 2022年1月10日（月）
※期日を過ぎての申込みはできません。

振 込 先 : 振込口座
銀行名 三菱東京UFJ銀行 支店名 渋谷中央支店
普通口座 0352258
口座名義 ザイ)ニホンタイソウキョウカイ
※振込者名の頭に「202103」を付けて下さい

ご依頼人の欄には、「株式会社」や「特定非営利活動法人 NPO」
「公益一般社団」などは除いてカタカナ 10 文字でチーム名が
わかるように振込してください

問い合わせ : 公益財団法人 日本体操協会 トランポリン委員会 障がい者トランポリン部
(代表) sptrampoline2007@yahoo.co.jp

全国スペシャルトランポリン交流大会 特別規則

(1)競技はSSクラス・Sクラスは規定演技と自由演技の合計点で、Aクラス、Bクラス、5種目クラスは2回の自由演技の合計点で順位を決定する。

(2)審判団構成

SSクラス・Sクラス				Aクラス・Bクラス・5種目クラス			
主審	1名			主審兼難度審	1名		
難度審	2名			難度審	1名		
移動審	2名			移動審	2名		
演技審	4名	合計	9名	演技審	3名	合計	7名

※ただし、審判員の状況により、弾力的に編成します。

(3)得点 総得点は難度得点、移動得点、演技得点の合計点からなる。

総得点＝演技得点（最大20点）＋移動得点（最大10点）＋難度得点－ペナルティー

3-1 移動得点

2名の審判の移動得点の平均を有効得点とする。

3-2 演技得点

SSクラス、Sクラスの演技得点は4名の演技審判の得点の中間得点2つを演技得点とし、Aクラス、Bクラス、5種目クラスの演技得点は3名の演技審判の得点の中間得点を2倍し演技得点とする。

※ 5種目クラスは従来10点満点での採点を行ってきたが、今回から有効本数の満点の演技得点から各審判が減点する。（各演技審判5点満点）

※ 跳躍時間点はなしとする。

(4)声かけ、模倣について（Bクラスのみ）

4-1 声かけ、模倣<写真、カード等の使用含む>をする指導者、コーチは補助台の上のまっすぐな所のみとする。

4-2 各方向1名のみとし、最大2名の指導者、コーチを認める。

4-3 台の下、フレームパット、補助台の傾斜のある場所での声かけは認めない。

4-4 台の上に上がった指導者、コーチは必ず直立状態から行う。（安全性の考慮）

(5)使用種目の制限等

5-1 「膝落ち」「四つん這い落ち」「ターンテーブル」は演技種目として認められる。

※ 側方向軸の技はターンテーブルのみとする。

※ 「四つん這い→1/2捻り四つん這い」は認めない。

5-2 SSクラス、Sクラス以外の部門は宙返り（重心が頭部より上になる種目）は演技構成の中に入れてはいけない。

(6)タイムオーバーについて（Aクラス・Bクラス 5種目クラスのみ）

合図から121秒以内で演技開始されない場合0.6のペナルティーがなされ、再度そのグループの最後にもう一度のみ演技することを可能とする。

(7)タイブレイク（同点）について

以下の方法で順位を決定する。

1. 2回目の演技のE得点の最も高い選手
2. 2回目の演技のHD得点の最も高い選手
3. 1回目、2回目のE得点の合計が最も高い選手
4. 1回目、2回目のHD得点の合計が最も高い選手

(8)規定演技について

個人10種目SS規定	個人10種目Sクラス規定
1. タックバック	1. 背落ち
2. ストラドルバウンス	2. バックオーバー
3. タックバラニー	3. シート
4. タックバウンス	4. ハーフスタンド
5. タックバック・シート	5. ハーフピルエット
6. 1/2スタンド	6. パイク
7. 1/2ピルエット	7. ハーフフロント
8. パイクバウンス	8. スタンド
9. 1/2フロント	9. ストラドルバウンス
10. スタンド	10. タック前宙